



吉井中学校通信

～高い志を持ち、心豊かでたくましい生徒の育成～

うきは市立吉井中学校
第 14 号
令和8年9月29日 発行
文責 校長 金子 敬尋

筑後地区中学校新人陸上競技大会 文武両道でがんばりました



筑後地区中学校新人陸上競技大会は、9月16日(水)に久留米総合スポーツセンター陸上競技場で行われました。本校からは、ブロック大会を勝ち上がった2年女子100mの山平夏輝さん、1年女子800mの川島煌莉さんの2名が出場しました。山平さんも川島さんも、今の自分のベストを尽くし精一杯がんばってきました。また、この日は中間考査の前日でした。テスト勉強の期間と地区大会の練習期間が重なり、二人はとても大変な期間であったと思います。

それでも弱音を吐かず、テストも大会もどちらも大切にしながらがんばってきました。文武両道で努力する姿に感心させられました。



うきは市戦没者慰霊式に参加して

9月26日(土)、るり色ふるさと館で、うきは市戦没者慰霊式が行われました。これは毎年9月の最後の土曜日に行われており、いつも中体連のブロック大会と重なって、私(校長)自身は参加することができていませんでした。しかし、今年はブロック大会と期日が重ならず、初めて参加することができました。当日は、生徒会執行部の中村遙士朗さん、良永夏希さん、藤山苺佳さんの三人が吉井中学校生徒代表として一緒に参加してくれました。慰霊式の中では、うきは市長やうきは市遺族連合会の会長など、様々な立場の方が式辞や追悼の言葉を述べられていましたが、どのお言葉の中にも共通していたのが、「今の平和があるのは戦没者の方々の努力のおかげであり平和の尊さを語り継ぐこと、そして絶対に戦争をしてはならない」ということでした。私たちは、学校や社会の多くの機会に平和について学習しています。そこで真剣に学び考え、平和な世の中をつくっていかうと決意することができています。このことを決して忘れず、今の自分たちの生活、そして世界に目を向け、今起きている戦争の悲惨さや平和の尊さについて、これからはしっかりと考えて行動しなければならないと、あらためて思わされた戦没者慰霊式でした。

文化祭に向けてがんばってます



チルルームも使用して練習を行っています。文化委員や各パートのリーダー、指揮者・伴奏者など、いろいろな役割でがんばっていますが、やはり何よりも全員が心を一つにしてクラスのハーモニーをつくろうと努力することが最も大切なことだと思います。先週は合唱リハーサルが行われました。リハーサルを見て、3学年ともまだまだやれると感じました。これから本番まで、クラスの絆をより強いものにしたいと思います。

今年の文化祭は10月9日(金)に行われます。文化祭の中では合唱コンクールが行われます。9月11日(金)から合唱練習が始まり、どのクラスも金賞をめざして一生懸命に練習しています。今年はクラスの数が増えたため、教室以外の練習場所が体育館や多目的ホール、音楽室以外にラン



文化祭活動も文化祭に向けてがんばっています。文化祭では、ステージ発表や作品展示があり、放課後の活動はそれに向けて取組がしっかりと行われています。文化祭活動の3年生は、最後の発表の場になるので、本番で自分たちの成果を披露できるように今、しっかりと取り組んでほしいと思っています。

保護者の皆様、お忙しいとは思いますが、子どもたちのこれまでの努力の成果や本番でがんばる姿をぜひ見に来ていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。